

103) 雨の週末

雨の週末二人きり 沈黙だけが過ぎてゆく
雨のベールに包まれた この寝室は飛行船
外の世界は雨の中 他人^{ひと}のことばは聞こえない
唇かさね愛しい 二人の時間が刻まれる

雨の週末二人きり 沈黙だけが過ぎてゆく
ベッドのなかで目を閉じて 雨の響きを懐かしむ
心の奥に思い出の ひとつひとつがよみがえる
このよろこびを分かち合い 二人の時間が刻まれる

雨の週末二人きり 沈黙だけが過ぎてゆく
ほかの誰より愛してた ほかの誰より信じてた
もう離れない離さない いつもふたりで生きてゆく
小指からませ誓い合い 二人の時間が刻まれる

雨の週末二人きり 沈黙だけが過ぎてゆく
雨がやむまでもう一度 手を取り合って眠りたい
夢の世界へ誘い込む この寝室は飛行船
すべてのことを許し合い 二人の時間が刻まれる
時の流れに逆らって むさぼるように眠りたい
すべてのことを許し合い 昨夜とちがう夢を見る